

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

第1617回例会 令和5年5月11日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。今年度もあと5月、6月という事で、理事会の議案を作る時に終わりになってきたなど実感しています。あと一踏ん張りです。



月の1回目は渋谷栄一さんの話という事でロータリーの考えと似ているという事で、これを知る事で新たな知見があるというよりもロータリーの事と似ているという事で紹介しています。

「競争の善意と悪意」というタイトルですが、いわゆる道徳的、商業道徳の話になっています。読ませていただきます。

広い人道的の道徳でなくして、商売上ことに輸出営業などについて注意を望むのは、競争に属する道徳である。これは特に申し合わせて、その間の約束を道徳的に堅固にしたいと、余は希望して止まぬのである。すべての物を励むには競うということが必要であって、競うから励みが生ずるのである。いわゆる競争なるものは、勉強または進歩の母というは事実であるけれども、この競争に善意と悪意との二種類があるようである。(少し前に競争はしないという事で、運動会で一緒にゴールするのが良い教育だという事もありましたが、間違っていると思います。ただ、競争にも良い悪いがあるという事です。) 一歩進んで言うならば、毎日人よりも朝早く起き、善い工夫をなし、智恵と勉強とをもって他人に打ち克つというは、これすなわち善競争である。しかしながら他人が事を企てて世間の評判が善いから、これを真似て掠(かす)めてやろうとの考えで、側の方からこれを侵すというのであったら、それは悪競争である。簡単にはかく善悪二つに言い得るけれども、そもそも事業は百端で、従って競争もまた限りなく分かれて来る。しかし、もしこの競争の性質が善でなかった場合は、おのれ自身には事によりて、利益ある場合もあろうけれども、多くは人を妨げるのみならず、おのれ自身にも損失を受くる。単に自他の関係のみに止まらずして、その弊害やほとんど国家にまで及ぶ。すなわち、日本の商人は困ったものだと、外国人に軽蔑されるようになって来るだろうと思う。ここに至るとその弊や実に大である。・・・ (ある時期日本製品は悪の代名詞だった事もあるし、戦後には

日本製品は良い物の代名詞であったり。悪い物を出すと全体の評価が下がる。渋谷さんがこれを書いた時代は、日本製品が悪かろうという時代だっと思えます。途中を省略して)

しからば如何なる具合に経営したら宜いかと言うならば、すべからず事実によらねば言明はできかねるが、余が思うには善意なる競争を努めて、悪意なる競争は切に避けるのである。この悪意なる競争を避けるということは、つまり相互の間に商業道徳を重んずるという強い観念をもって固まっておいたならば、勉強するからとて悪意の競争にまで陥るということはなく、ある度合いにおいてこうしてはならぬという寸法は、あえて「バイブル」を読まぬでも、論語を暗んじぬでも必ず分かるであろうと思う。

ロータリーの良い行いをすれば、自分に返ってくるんだという事はロータリーが発足する前から渋谷さんは言っていたという事です。

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より

- ①ポリオ撲滅チャリティーの案内
- ②入会3年未満会員ワークショップ&花火大会観賞の案内
- ③次年度地区カレンダー
- ④ポリオプラスソサエティ参加申込書



2. バギオ基金よりバギオ日より

【理事役員会報告】

5月	4	木	休会	
	11	木	通常例会	理事役員会
	18	木	通常例会	
	25	木	清掃例会(夜間)	
6月	1	木	通常例会	理事役員会
	8	木	秩父RC合同例会	6/13へ振替
	15	木	休会	
	22	木	次年度打合せ例会	
	29	木	次年度引継例会(夜間)	

出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
7	0	3	0	42.9%



四つのテスト

高田 富康 会員

私は出かけるのが好きで、連休中にはよく行く直江津に行って来ました。いつもの店で飲んで、2軒目に行く所もだいたい決まっています。

飲んで夜の11時過ぎくらいに宿泊予定のビジネスホテルに行ったところ、飲食店はまだやっていました。その飲食店の横にアストンマーティンがあったので、午後11時をまわっていましたが、そのお店に寄ってみました。アストンマーティンの所有者とも話をしました。直江津で設計屋さんをやっているという事でした。こういう飲食店も設計してといった話もしました。私は車が間に入って、いろいろな人と知り合えるという事で、楽しいです。



ロータリーの友音読会

2022年、会員に とっての「漢字一文字」

音読みマニツク 山本 武臣

2022年12月12日の「漢字の日」に、(公財)日本漢字能力検定協会が発表した「今年の漢字」第1位は「懺」でした。それでは、当クラブの会員にとつての2022年の一文字は？ と思いを立ち、クラブ公其イメージ委員会で調べることにしました。

さっそく会員の意見をまとめたところ、15文字が提出され、例会で報告されました。会員は異業種に従事していますが、同じコロナ禍の世界でこの一年を過ごしているの、同じような漢字が多いのではと想定していました。しかし、結果は、意外に会員によってさまざまであることが分かりました。

まず、「忙」の文字が最多となりました。コロナ感染拡大、その中での出張、医療、仕事などにより、「忙殺」「煩忙」であったようです。また、新年度も一文字を挙げるなら「忙」であるという意見が出ました。

世界情勢では不安がいつぱい。しかしそういう中でも希望を持っていたい、という気持ちで「希」。自分や家族もコロナによる社会的な規制から、日常への復活の兆しを感じたので「甦」。家族も自分もコロナ禍に負けず無事に乗り越えることができた、今後ますますに厳しい峠を越えなければならなくなる、ということでの「越」。

「空」——空しい理由はいろいろとあったようですが、新年度は「懺」でいたい、という意見がありました。価値観が多様化する中、人の行くべき前に着目で「倫」。残念なこと、悔やむことが多くあったため「悔」。しかし新年度は「更」という文字にできるように頑張りたい、とのコメントもありました。

クラブの継続、次世代への継続のために持続可能な社会が問われているということで「継」。この一年間、苦悩、苦悶、苦境しかなかったことから「苦」。感謝を忘れてはいけないと改めて思う気持ちで「感」。

家族の逝去、施設入居、子どもの巣立ちがあり、悲しみ、哀れみ、切なさで「哀」。仕事面では原点回帰、再始動の年であったので「再」。その他「忍」「痛」「憂」が挙げられました。

この「会員にとつての漢字一文字」を改めて眺めると、まさに会員の一年間の思いが表れていることを実感します。この企画は次年度も継続し、会員各自の一文字が次の一年間でどのように変わるか、アンケート調査をする予定です。

クラブとしては、次年度には、せめて「明」「柔」という文字が入っていることをひたすら祈念する次第です。(2022年12月12日 東京都 稲原市)